

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市子育てふれあいプラザ長町南		
2 指定管理者	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		
3 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 23,874人(前年度比 164.7%) 内訳 ひろば:21,926人 託児:1,948人 ※視察等:606人 令和3年度 14,495人 令和2年度 12,232人		
	《事業》 乳幼児親子の交流の場の提供、一時預かり、子育てに関する情報収集・提供等、子育てを総合的に支援する事業 子育てに関する事業を行う者(子育て支援活動団体)に関する事業、中高生に関する事業		
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額		
	・ 指定管理者に支払った費用	23,151千円 (24,847千円)	
	・ その他市が負担した費用	0千円 (0千円)	
	《収入》		
	・ 使用料収入	4,486千円 (2,708千円)	※託児収入
	・ その他収入	21千円 (13千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・意見箱の設置 ・イベント参加者に対してアンケートを実施		

## 二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令順守や服務規律について、法人独自のチェックシートを用いて全職員が年度当初に確認している。</li> <li>協定書、仕様書を事務室内の文書棚にて管理し、職員内でいつでも確認できるようにすることで、のびすくの設定目的、基本方針の理解を深めている。</li> <li>イベント、託児等利用者の数が限られるものの受け入れにあたっては、先着順を採用している。問い合わせのみで利用を保留された方には、定員に達した場合は利用できないことを伝えるなど、状況に合わせて丁寧な説明をしていることもあり、利用に関する苦情などはなされていない。</li> </ul>	21/21
II 施設の運営管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務分担とそれに応じたシフト表を作成しており、全職員が他の職員の業務を把握している。</li> <li>日々のミーティングで業務内容の確認を行うほか、日誌の作成、引き継ぎにより、シフトや出勤時間の違いによる差が生まれないように努めている。</li> <li>指定管理料を適正に執行するため、事業毎に経理書類の作成を行っている。</li> </ul>	29/29
III 施設・設備の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故や犯罪を未然に防ぎ、安全な施設運営を行うため、商業施設の警備員による巡回、警察の協力による不審者対応訓練を行っている。</li> <li>南向きの広い窓があり、天気の良い日は自然光でも十分に明るい環境を保つことができるため、間引消灯を行っている。これに関する掲示を行い、利用者からの理解も得ている。</li> </ul>	19/19
IV サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>入館する商業施設の営業時間前は、のびすくへの入館ルートが異なるため、施設内の掲示や電話申し込み時の説明により、利用者が迷うことなく来館できるよう案内している。</li> <li>法人で実施する研修に参加した職員が、ほかの職員にも資料の供覧や報告を行うことで、職員全体のスキルアップにつなげている。</li> <li>意見箱の設置、利用者アンケートの実施のほか、日頃からひろば内で積極的に利用者とかかわることで、利用者の声を得られやすい体制を整えている。</li> </ul>	28/28
V 施設固有の基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達が気になる乳幼児親子を対象とした「けやきっこひろば」を開催しており、毎回多くの参加がある。地域の発達支援施設の職員と連携し、参加者の希望に応じて必要な支援につなげた。</li> <li>商業施設内にて運営していること、車と公共交通機関のどちらでも来館しやすいことをいかし、地域を問わず多くの利用者を受け入れている。ひろばでは、休日の父親利用が多いこと、託児では、買い物やリフレッシュ目的での利用が多いことも特徴である。</li> </ul>	9/9

### 三 評価総括

《指定管理者（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）による自己評価》
<p>新型コロナウイルス感染防止にかかるさまざまな制限が緩和されていく流れに柔軟に対応し、可能な限り多くの子育て家庭が利用できるように運営を続けてきた。</p> <p>今年度は休館日を利用した「けやきっこひろば」を開催した。子の発達に特性があり居場所を求めている保護者たちの声に応える形で始まったが、以前から目標にしていたことでもあり、実現できたことに対して職員一同やりがいを感じている。発達支援センターとも連携して、協力をいただきながら継続的な支援ができるように努めてきた。6月から開催して毎月予約が入り、繰り返し利用してくれる方や保護者の口コミを聞いて参加してくれる親子もいた。必要としている子育て世帯に少しずつ広まっていると実感している。</p> <p>太白子育て支援ネットワークの事務局としての活動は、年度の目標を定め事務局一丸となって支援者同士が顔の見える繋がりを持てるように研修会を実施、例年になく参加申込があり大きな手ごたえを感じた。</p> <p>また長町南としては初めて外で遊びのひろばを夏と秋に二回開催した。プレーパークの研修を受けた職員が主体となり感覚遊びや季節を感じられる遊びを用意した。乳児を連れた親子も過ごせるスペースを作るなど誰でも楽しめるひろばになった。太白区の支援センターが合同で行った外遊びのつどいにも参加して、利用者との関わりや遊びの展開など刺激を得る機会にもなりその後の支援に活かしている。</p> <p>一時預かりは今年度も個別の配慮を必要とする子どもの利用が多くあった。常連の利用者も多く、託児室での子どもの様子を丁寧に伝えることで保護者から沢山の喜びの声が聞かれる。またNoKoCoとも連携し、保護者の不安解消に繋がるように支援した。預かり中に相談の予約をされる方や、お迎え時に希望する方もいて、一時預かり、ひろば、NokoCo、長町南全体で利用者の子育てをサポートすることができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ひろば事業では、5館の中で最多の利用者を受け入れ、多くの乳幼児親子の支援を行っている。新型コロナウイルスの影響が残る一年だったが、「おうち時間が楽しくなるスマイル子育て講座」を実施し、自宅での子どもの成長を楽しく見守ることができるよう働きかけた。外遊びイベント「もりののびすく」を初めて実施し、季節の自然に触れあいながら遊べる環境を提供したほか、偶然立ち寄った乳幼児親子も受け入れ、その後の利用につなげている。</p> <p>一時預かり事業では、快適な託児室内の整備、職員の質の向上に努め、利用者が安心して子どもを預けることができる環境を整えた。託児中だけでなく、お迎え時のコミュニケーションも大切に、保護者に対し子どもの託児時の様子を事細かに伝えた。発達に特性がある子どもの利用の際は、必要に応じて受け入れ人数を調整するほか、のびすく子育てコーディネーター（NoKoCo）と連携しながらその後の支援にもつなげている。</p> <p>また、紙おむつや離乳食などで、未使用ながら不要になってしまったものを回収し、「はーとバンク」として館内窓口に設置し、利用者から好評を得ている。</p> <p>このほか、小学生のお仕事体験、中学生のお仕事体験を受け入れたことで、地域の子育てに対する関心向上に努めている。乳幼児親子にとっても異年齢とかかわる機会となり、自身の子どもの成長がより楽しみになったと好評だった。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども家庭部総務課